

ニホンイシガメの奇形卵

小賀野大一

290-0151 千葉県市原市瀬又962-40 千葉県野生生物研究会

A malformed egg of the Japanese pond turtle *Mauremys japonica*.

By Daiichi OGANO

Chiba Wildlife Research Society, 962-40 Semata, Ichihara, Chiba, 290-0151, JAPAN

生息域外保全を行っているニホンイシガメ *Mauremys japonica* の野外飼育場において、2020年7月23日早朝、産卵巣から卵7個を回収したところ(図1A)、このうちの1卵が突起のある奇形卵だったので紹介したい(図1B)。

この突起のある奇形卵は、重量11.0gで、突起部分を含めた長径44.37mm、突起部分を除いた長径34.8mm、短径22.6mmであった。奇形卵以外の6卵の平均値(範囲)は、重量10.2(9.6-10.4)g、長径34.8(33.8-36.2)mm、短径22.4(21.8-22.9)mmで、奇形卵は突起部分を除くと長径、短径共に平均値に近かった。今回、産卵の始終を観察することができなかったので、何番目に産んだ卵であるかは不明である。筆者はこれまで300卵以上のニホンイシガメの卵を飼育下の産卵巣から掘り出してきたが、このような奇形卵の確認は今回が初めての記録なので稀な事例といえるだろう。

なお、7卵中3卵は発生途中で死亡したが、この奇形卵はその後順調に発生を続け、2020年9月18日に突起側から無事に孵化した。孵化幼体には外見上の奇形は確認されなかった(図1C)。また、他の3卵の孵化日は、同年9月18日、9月21日、9月24日であった。

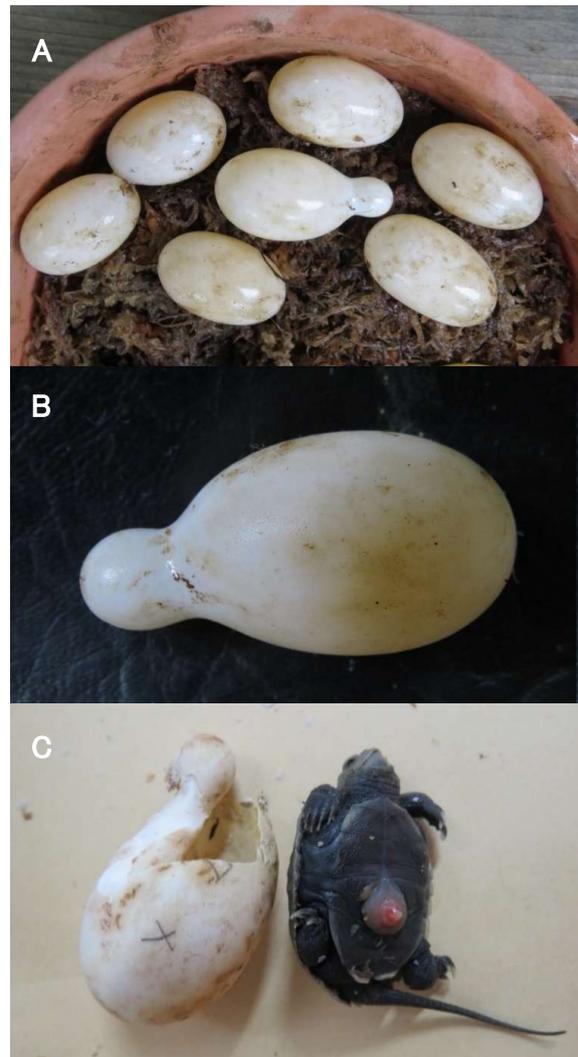


図1. A: 同一のニホンイシガメが産んだ7卵(中央が奇形卵), B: 突起のあるニホンイシガメの奇形卵, C: ニホンイシガメの奇形卵から無事に孵化した幼体。